

第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会

- テーマ 「不確実な社会で、多様性と『やさしさ』を考える」
- 大会長 中塚 幹也
岡山大学大学院保健学研究科，岡山大学病院リプロダクションセンター
岡山大学ジェンダークリニック
- 開催年月日 2021年（令和3年）10月15日（金）・16日（土）
（オンデマンド：2021年10月15日（金）～11月15日（月））
- 会場 オンライン開催（LIVE配信・オンデマンド配信）
（配信スタジオ・岡山大学医学部保健学科棟リプロカフェ・岡山市）
- 参加人数 2,252名
※招待者：40名，会長企画2（公開収録）：64名，市民公開講座：686名を含む
（うち参加費納入者1,462名，内訳：会員882名，学生208名，非会員372名）
- 構成 会長講演，理事長講演，特別講演（2演題），教育講演（6演題）
シンポジウム・7企画（31演題），ワークショップ・4企画（16演題）
愛育賞候補・高得点演題セッション（12演題）
共催セミナー（2演題）
一般演題数（284題）
会長企画1（1演題），会長企画2（座談会），会長企画3（9演題）
学生企画
市民公開講座（5演題）
企業・団体バーチャル展示

第62回
日本母性衛生学会
総会・学術集会

不確実な社会で、
多様性と
「やさしさ」を考える

2021年
10/15金・16土（LIVE配信期間）
10/15金～11/15月（オンデマンド配信期間）

オンライン開催
企業展示もバーチャルで開催いたします

会長 中塚 幹也
岡山大学大学院保健学研究科 教授

SNSで学術集会の最新情報発信中

主なトピックス
・新型コロナウイルスと妊婦・子育て
・流産女性への心理社会的支援
・社会的ハイレスク妊婦と虐待防止
・LGBTと医療 他

・配偶子提供と民法特例法
・乳がんの基礎知識
・助産師教育の今後

https://www.kwcs.jp/g2bosel/

運営事務局 株式会社ケーエープラス 〒701-0205 岡山市南区緑塚2346-1 TEL: 086-250-7681 FAX: 086-250-7682 E-mail: jmh62@kwcs.jp
〒 岡 岡 岡山大学大学院保健学研究科 中塚幹也 〒700-8508 岡山県北区東原二丁目1-1 岡山大学大学院保健学研究科 西條 大貴 藤井 望子
「妊娠からの母子支援」研・産科看護プログラム事務局 http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/

第 62 回学術集会を振り返って

第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 会長
中塚 幹也

岡山市でオンサイトでの開催を予定しておりました第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、全面オンライン開催（LIVE 配信・オンデマンド配信）とさせていただきます。いつもの学会開催のノウハウをそのまま活かすことができず、試行錯誤の連続ではありましたが、何とか無事に終了でき、これも皆様のご理解、ご協力のお蔭と感謝しております。前回の第 61 回に続いてのオンライン開催となり、西口前会長からのご助言も大変役立ちました。有難うございました。

今回の学術集会のメインテーマは「不確実な社会で、多様性と『やさしさ』を考える」でした。コロナ禍で、日本社会としても身近でもギスギスしたことが続く中で、日頃から感じていたことをそのまま言葉にしたものです。しかし、それぞれの方々の周囲に存在する「単一・画一的なこと」「やさしくないこと」に目を向けていただく契機になればとの思いもありました。自身も含めて、「排他的なこと」「弱肉強食的なこと」を見直すことにつながればと思います。

勿論、テーマの中の「多様性」は、岡山大学ジェンダークリニックが「性同一性障害/性別違和/性別不合」の日本最大の診療拠点であることから「性の多様性」「LGBTQ+」に関する各種の活動を取り上げました。また、もう 1 つのテーマの「やさしさ」ですが、流死産カップル、不育症カップルへの診療の中で取り組んでいるグリーンケアやテnder・ラビング・ケア（TLC）など「やさしさに包まれる」ような精神的支援が広がればと思い取り上げました。このようなテーマは、今までの日本母性衛生学会でもメインテーマとしては取り上げて来られなかったものですが、今回の学術集会への参加を契機に、このような課題も気にしていただければ幸いです。これらの啓発・普及に向けて、「LGBTQ アライ」と「TLC」の 2 つの缶バッジを記念品にしました（学生企画や企業・団体バーチャル展示ラリーに参加していただいた方々には、ノベルティグッズとともにお送りしました。）

オンサイトの学会であれば、2 日間の学会開催期間を乗り切れば、良くも悪くも終了するのですが、LIVE での開催から 1 か月間にわたるロングランとなりました。各種の講演の講師の方々、シンポジウム、ワークショップ、会長企画の座長、演者など、多くの方々に、ご自身で事前の収録して頂くというお手数をおかけしました。また、シンポジウム、ワークショップ、市民公開講座の講師の一部の方には、当日、オンラインで各地から入って頂いたり、岡山大学医学部保健学科棟のリプロカフェの配信スタジオで、ご自身で PC を操作して頂いたりというお手数をおかけしました。ご協力、大変有難うございました。

実は、学術集会は、2021 年 9 月 29 日の会長企画 2「性の多様性と子どもたち」の収録から始まりました。トランスジェンダー当事者で俳優や映画・ドラマの監修としても活躍されている西原さつきさん（乙女塾）の講演の後、座談会形式で、全国から参加してくれた中学生・高校生からの質問にお答えしました。LGBTQ 当事者の生徒、LGBTQ アライの生徒の参加もあり、和やかな感じで収録できました。オンデマンド配信を見ていただいた方々からも暖かいご感想をいただきました。このような若い力が、今後の日本社会を変えていってくれることを確信しています。

会長講演では、とりとめもなく身の回りの「多様性」「やさしさ」の話をしました。学会前でバタバタしている中でスケジュールが合わず、事前収録したものを座長の遠藤先生（次期会長）に送って紹介動画を収録させていただくというような綱渡りのような状態で、何とか当日の配信に間に合わせました。

演題は、いくつかのテーマを意識して構成しました。『生命倫理』に関しては、正岡理事長の倫理のお話、河合蘭さんの「出生前検査」のお話、「配偶子提供と生命倫理」のシンポジウムなど、また、『感染症撲滅』に関しては、可児佳代さんの「先天性風疹症候群」のお話、中野貴司先生からは「新型コロナウイルス、他」のお話、シンポジウム「新型コロナウイルスと妊娠・出産・子育て」など、『社会的ハイリスクを持つ思春期女性・妊産婦への支援』に関しては、シンポジウム

「社会的ハイリスク妊産婦への支援：多職種連携に向けて」、ワークショップ「「思春期女性の危機」への支援のための連携：デートDV、性被害、緊急避妊ピル、妊娠SOS」など、『流死産・不育症』に関しては、シンポジウム「流死産女性に対する心理的社会的支援」や会長企画「産科スタッフのためのスキルアップセミナー」の「不育症カップルへのグリーンケアとテnderラビングケア」など、『性の多様性』に関しては、シンポジウム3「LGBTQ当事者が医療施設を受診したとき」、市民公開講座「LGBTQ 公開シンポジウム「多様性を認め合う社会の実現に向けて」、会長企画「性の多様性と子どもたち」（中学生・高校生との座談会）などといった具合です。また、従来からのテーマとして、シンポジウム「助産師教育の今」やワークショップ「医師と助産師の協働のあり方」、また、前回の学術集会に続いて、ワークショップ「乳がん女性への支援の実際」、新たなテーマとして、ワークショップ「病気による困難を抱える子どもたちの、教育支援・自立」なども加えています。

また、今回は、今後の会員の増加を目指して、助産学生のための学生企画を充実させました。教育講演や会長企画3「産科スタッフのためのスキルアップセミナー」は、アーリー・エクスポージャー (early exposure) を意識しています。学習してくれた学生たちには講習修了証を発行しました。また、同時に、この一連のセミナーは、現役・休職中の助産師へのリカレント教育も意識しています。種々のテーマ、種々の講師の中から、興味のあること、知らなかったことを選んで受講していただきましたでしょうか。

「#母性衛生おかやま」でインスタグラム、ツイッターなどのSNSでの発信、新聞やラジオの取材もあり、市民公開講座には多くの方々のご参加をいただきました。学術集会は終了しましたが、引き続き日本母性衛生学会学会本部のホームページからもご覧いただくことができるように準備中とお聞きしています。また、一部のシンポジウムの収録分は、会員への教材として今後も使用されるということです。

コロナ禍で制約があり、日本全体で研究活動が停滞していることを反映し、一般演題の登録が少なめであったのが残念でした。少しずつですが、研究活動も再開されつつあり、来年度以降の復調を期待しています。今回は、理事の方々により査読をしていただいた一般演題の採点をもとに「愛育賞候補・高得点演題」セッションを開催し、さらに、審査委員会を作ってください、オンラインで審査が難しい中、無事、コメディカル愛育賞の受賞者を選んでいただきました。開催期間は過ぎましたが、ホームページは残しております (<https://www.kwcs.jp/62bosei/>)。この中でも受賞者を発表しておりますので、ぜひ、ご確認ください。

皆様、本当に有難うございました。感謝するとともに、皆様のご活躍を祈念いたします。



第 62 回日本母性衛生学会学術集会 概要 (敬称略)

【会長講演】 「多様性と「やさしさ」を考える」
座長：遠藤 俊子 演者：中塚 幹也

【理事長講演】 「母性衛生と倫理」
座長：中塚 幹也 演者：正岡 直樹

【特別講演】
特別講演 1 「出生前検査」22 年目の方針転換と多様性を考える」
座長：西口 富三 演者：河合 蘭
特別講演 2 「妊婦・子どもとウイルスとの戦いの歴史：風疹、サイトメガロウイルスから新型
コロナまで」
座長：山田 秀人 演者：中野 貴司

【会長企画】
会長企画 1 (風疹撲滅キャンペーン) 「風疹の流行を繰り返さないために そして、母の願い」
演者：可児 佳代
会長企画 2 (講演と座談会) 「性の多様性と子どもたち」
「私らしさと、やさしさと。」
座長：中塚 幹也 演者：西原 さつき
中学生、高校生との座談会 コメンテーター：西原 さつき 中塚 幹也

【教育講演】
教育講演 1 「妊娠高血圧症候群 up to date」
演者：増山 寿
教育講演 2 「生殖医療における ICT 活用」
共催：システムロード株式会社 演者：林 伸旨
教育講演 3 「理学療法士の視点に基づいた母子支援とそのアイデア」
演者：島谷 康司
教育講演 4 「産科における AI の活用」
演者：宮木 康成
教育講演 5 「現代女性が抱える月経トラブルを診る～ホルモン製剤の役割～」
共催：バイエル薬品株式会社 演者：北村 邦夫
教育講演 6 「噛む力は胎児から：妊娠中から始める食育」
演者：渡邊 典子, 中野 智子

【シンポジウム】
シンポジウム 1 「流死産女性に対する心理的社会的支援 (厚生労働省国庫補助事業「子ども・子
育て支援推進調査研究事業」「流産や死産等を経験した女性に対する心理社会的
支援に関する調査研究」に関する委員会共催)」
座長：蛭田 明子
「わが国における流産や死産等を経験した女性に対する心理社会的支援について」
演者：市川 佳世子
「流産や死産を体験した女性の直面する困難」
演者：石井 慶子

「おおいた不妊・不育相談センターhopeful における専門的支援」

演者：上野 桂子

「医療機関での流産・死産体験者への支援体制の必要性 神奈川県内 2 病院での取り組み」

演者：布施 明美

「不妊治療専門クリニックにおける流産・死産等を経験した女性に対する支援」

演者：門田 貴子

シンポジウム 2 「助産師教育の今」

座長：藤井 宏子

「ポスト・コロナ時代を見据えて助産師学生の教育を考える」

基調：藤井 宏子

「助産師教育における将来ビジョン 2021」

演者：村上 明美

「助産師教育の“出口管理”からみた現状と課題」

演者：浅見 恵梨子

「助産学実習における臨床の役割」

演者：太田 加代

シンポジウム 3 「LGBTQ 当事者が医療施設を受診したとき」

座長：松本 洋輔

「コロナ禍のトランスジェンダー当事者の生活・医療」

演者：江口 珠美

「GID/GD/トランスジェンダーの医療アクセスの現状」

演者：浅沼 智也, 他

「誰のための医療かーともに看取りを考える」

演者：城戸 健太郎

「安心してケアを受けられるために必要なこと」

演者：藤井 ひろみ

「誰もが受診しやすい医療環境作りに必要な SOGI (性的指向、性自認) に関する教育」

演者：吉田 絵理子

シンポジウム 4 「配偶子提供と生命倫理」

座長：二宮 周平

「配偶子提供で生まれた子の立場から」

報告者：石塚 幸子

「配偶子提供で子をもうけた親の声」

報告者：白井 千晶

「配偶子提供の利用のニーズと家族形成支援」

報告者：荒木 晃子

「ドナー・代理出産者の尊厳」

報告者：二宮 周平

シンポジウム 5 「社会的ハイリスク妊産婦への支援：多職種連携に向けて」

座長：佐藤 昌司

「クリニックからの発信：助産師、心理師、産科医、小児科医の院内連携と地域行政との連携の取り組み」

演者：神谷 仁

「妊娠中からの切れ目のない支援としての「岡山モデル」」

演者：横溝 珠実

「大阪府妊産婦こころの相談センターにおける連携」

演者：和田 聡子

「大分県ペリネイタルビジット・ヘルシースタート～産科・小児科・行政の連携による子育て支援システム～」

演者：大江 洋美

「妊産婦自殺・母子心中を防ぐために地域母子保健でできること—長野トライアルの知見から—」

演者：立花 良之

シンポジウム 6-A 「新型コロナウイルスと妊娠・出産・子育て」

座長：菅沼 信彦

「新型コロナウイルス禍における妊婦の不安，困惑の様相—ソーシャルメディアへの投稿内容の分析—」

演者：井田 歩美

「COVID-19 拡大下における妊婦の生活の実態と抑うつ・不安との関連」

演者：中正 成美

「新型コロナウイルス感染拡大の中での出産と子どもへの愛着との関連」

演者：小平 明日香

「乳幼児を子育て中の夫婦のコロナ禍における家事育児協働の変化」

演者：及川 裕子

シンポジウム 6-B 「新型コロナウイルスと妊娠・出産・子育て」

座長：大橋 一友

「新型コロナウイルス感染(COVID-19)拡大に伴い増加した女性に関する各種の相談：全国の相談窓口への調査から」

演者：伏谷 あすみ

「コロナ禍での妊婦向けオンライン母親教室の内容に関する検討」

演者：吉岡 希望

「コロナ禍における産後女性の心身の健康支援を目的としたオンラインプログラムの効果」

演者：野村 由実

「新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛下における女性のDV被害」

演者：加藤 雛子

【ワークショップ】

ワークショップ 1 「医師と助産師の協働のあり方」

座長：下屋 浩一郎

「助産師の立場から」

演者：若井 和子

「医師の立場から～助産所における分娩という選択を支援すること」

演者：中井 祐一郎

「院内助産の現場から」

演者：村田 佐登美

「助産所の現場から」

演者：兼子 加寿子

ワークショップ2 「「思春期女性の危機」への支援のための連携：デートDV，性被害，緊急避妊
ピル，妊娠SOS」

座長：金重 恵美子

「性暴力被害者支援の現場から」

演者：片山 文

「中間支援の現場から～日替りママプロジェクト～」

演者：横田都志子

「性暴力のない社会をめざして～岡山県の取り組みから」

演者：大塚 愛

「日本女医会 十代の性の健康支援ネットワーク ゆいネット岡山 12年の歩み」

演者：富岡 美佳

ワークショップ3 「病気による困難を抱える子どもたちの、教育支援・自立に向けたお話」

座長：三好 祐也

「病気による困難を抱える子どもたちの、教育支援・自立に向けたお話」

基調：三好 祐也

「保護者の立場から」

演者：古賀 麻衣子（保護者）

「支援学校病弱部の立場から」

演者：末吉 幸一

「当事者の立場から」

演者：立分 恵（当事者）

ワークショップ4 「乳がん女性への支援の実際」

座長：枝園 忠彦

「若年性乳がんの問題点（診断および遺伝）」

演者：寺田 かおり

「妊娠・授乳期乳がんの治療と問題点」

演者：田村 宜子

「若年性乳がんの妊孕性温存の現状と課題」

演者：河合 由紀

「外来における若年性乳がん患者の意思決定支援～妊孕性対策に関する生殖医療との連携～」

演者：露無 祐子

【会長企画】

会長企画3 「産科スタッフのためのスキルアップセミナー」

1 「産科超音波の基本～正常胎児形態のチェックポイント～」

共催：株式会社日総研出版 演者：正岡 博

2 「産科における緊急時対応の基礎：産科病棟で〈いざという時の備え〉を学ぼう」

共催：株式会社京都科学 演者：牧 尉太

3 「出生前診断の現状と遺伝カウンセリング：助産師に求められること」

演者：早田 桂

4 「授乳困難を伴う母子の授乳支援」

共催：メデラ株式会社 演者：宮下 美代子，大井 伸子

5-A 「不育症カップルへのテnderラビングケア」

演者：樫野 千明

5-B 「不育症カップルへのグリーフケアとテnderラビングケア」

- 6「学校教育においてデートDVをどのように伝えるか」
演者：片岡 久美恵
- 7「思春期のプレコンセプションケアの基礎力を育むライフスキル教育」
演者：上村 茂仁
- 8「学校で「性の多様性・LGBTQ」についての授業を頼まれたら」
演者：富岡 美佳
- 演者：中塚 幹也

【愛育賞 候補・高得点演題】

「妊娠期におけるヘルスリテラシーの現状と課題」

演者：HS-001 神原 祐美

「妊娠時期別にみた「辛かったこと」・「相談の有無」と産後のエジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) の関連」

演者：HS-002 守谷 菜月

「緊急帝王切開における妊婦の適応力を高める教育プログラム PEACE の効果～妊娠後期の教材による比較～」

演者：HS-003 横手 直美

「北海道内のアドバンス助産師が行うペリネイタル・ロス（周産期の喪失）を経験した父親へのケアの実態調査」

演者：HS-004 出村 唯

「不育症女性の気分・不安障害に有効な可能性のあるテnder・ラビング・ケア (TLC) の検討」

演者：HS-005 千葉 智美

「『授乳に伴う乳頭組織の7所見』の特徴-デルファイ法を用いた定義の検討-

演者：HS-006 中村 真弥

「短期母乳栄養を選択した HTLV-1 陽性褥婦の断乳の実態」

演者：HS-007 岡本 恵

「家族形態と子育て世代の母親の精神的健康・育児ストレス・育児負担感との関連」

演者：HS-008 二川 香里

「乳幼児を持つ在留外国人の母親の防災リテラシーを促進する要因」

演者：HS-009 楊 研

「J-PFDI-20 質問紙を用いた産前産後の骨盤底機能の検討」

演者：HS-010 吉岡 なつ美

「若年乳がん患者の妊孕性意思決定に対するがん・生殖領域看護師の実践、態度と課題」

演者：HS-011 波崎 由美子

「教員における性別違和感を持つ子どもと接する機会や対応への意識：日本における12年間の推移」

演者：HS-012 轟 真歩

【市民公開講座】

「LGBTQ 公開シンポジウム「多様性を認め合う社会の実現に向けて」」

座長：中塚 幹也，宮本 美穂子

「LGBTQ：最近の社会の動向」

基調：中塚 幹也

「性の多様性を学ばないなら、SDGs じゃない。何も変わらない。」

演者：染矢 陸人，他

「地域における LGBTQ 当事者グループの役割」

「岡山市パートナーシップ宣誓制度の導入について」

演者：鈴木 富美子

「法律って本当に平等ですか（多様性と法の現在地）」

演者：橋本 淑美

演者：仲岡 しゅん

【共催セミナー】

共催セミナー「薬剤による子宮頸管熟化法の実際」

共催：フェリング・ファーマ株式会社

座長：杉山 隆

「当院でのプロウペス膣用剤の使用について」

演者：福原 健

「当院でのプロウペス運用に関して（助産師より）」

演者：林 千紘